



みをつくし

静岡県立浜松みをつくし特別支援学校
学校だよりNo.2
令和8年10月1日 発行



輝く未来描く みをつくし

教頭 玉木 実佳

本校に着任し、早くも半年が過ぎました。桜の花に心を寄せていたのも束の間、気づけば、朝夕に秋の訪れを感じる季節となりました。

子どもたちは、「やってみよう」「いっしょにやろう」「たいせつにしよう」を合言葉に、日々の授業や活動をとおして、学ぶ楽しさや目標を達成する喜びを感じながら、さまざまなことを学んでいます。新たな発見をし、友達と思いを伝え合い、粘り強く挑戦するなかで、少しずつ自分の世界を広げています。その一步一步の成長は、ともに学ぶ仲間、温かく支えてくださる保護者や、みをつくしサポーターを始め地域の皆様とのつながりの中で育まれたものであることを実感する毎日です。心より感謝申し上げます。

「ともに育てた心の絆 輝く未来描く みをつくし」。校歌には、このような歌詞が綴られています。地域の皆様とともに歩むなかで育まれた絆を大切に、子どもたちが目標や夢に向かって自ら進んでいけるよう、豊かな学びと健やかな成長を支える教育活動に努めてまいります。今後とも御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

学習発表会『はまみ夢ウィーク』を、11月11日（水）、12日（木）に開催いたします。今年度も、小学部のステージ発表や、中学部、高等部による作業製品の販売会を予定しています。子どもたちの成長や日頃の学習の成果を見ていただくことで、学校、家庭、地域が、子どもたちの成長を共に支える機会になれば幸いです。詳細は、本校ホームページや地域の回覧板、掲示ポスター等でご覧ください。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

栄養教諭より ◆地域の食材紹介◆ ～栄養教諭 菅沼純子～

本校では開校当初から、細江町の「とんきい」さんの豚肉や、無添加で安心安全なウインナーやベーコンを給食に使用しています。また昨年度は、本校の「みをつくしサポーター」として、ウインナーの作り方の授業をしていただきました。子どもたちからも「お肉おいしい！」という声が聞こえ大好評でした。



《本校の地域と関わる学習》

学校ホームページと合わせて
お読みいただければ幸いです。

小学部	小学部6年生は、浜松まつりの学習を行いました。浜松観光ボランティアガイドの会の方から祭りについて教えていただき、お祭りに必要な物を考えながら、6年生オリジナルの「浜松みをつくし祭り」を開きました。法被や屋台を作ったり、他の学年の児童と一緒に校内を練り歩いたりしました。 学習の最後には、浜松まつり会館の方と一緒に大凧を揚げました。空に揚がる大凧に歓声を上げる姿や、手元に伝わる風の感覚を楽しむ姿が見られました。	 
中学部	中学部3年生は、家庭の授業でみをつくしサポーターの方と調理実習に取り組みました。調理実習では、自分たちで育てた、なすやピーマンなどの夏野菜を使って、「肉味噌炒め」を作りました。 野菜の切り方や手の添え方を教えていただいたり、野菜の炒め方や混ぜ方など調理の仕方を教えていただいたりしました。 生徒たちは、みをつくしサポーターの方のアドバイスを参考に、集中して調理に取り組むことができました。 料理が出来上がると、サポーターの方も交えて、美味しく食事をすることができ、達成感を感じることができました。	 
高等部	農園芸班は、みをつくしサポーターの方から助言をいただきながら夏野菜やさつまいもの栽培に取り組みました。夏野菜の栽培では、防風、防虫のためにあんどん仕立てをすることを教えていただきました。みをつくしサポーターの方が作ってくださった見本をまねることで、6月中旬から立派なナスやピーマンなどを収穫することができました。また、さつまいもの苗植えでは、苗を植えるときの角度や深さなどを教えていただき、全長25mの畑一面に苗を植えることができました。	  